

Next One!

となみ 市議会 だより

〜〜 令和7年6月定例会 〜

Contents

- P2 小学生が市議会にやってきた!
- P4 一般質問
- P8 委員会報告
- P10 賛否公開

2025

7.25

No. 41



特集

小学生が市議会に やってきた!



小学生が市議会にやってきた！ ～砺波北部小学生が地方自治を学ぶ～

令和7年6月定例会初日の6月9日、主権者教育の一環として砺波北部小学校の6年生 77人が、新入市議等との対談や議会傍聴を通して、市議会の役割と議員の仕事内容について理解を深めました。



有若議長の挨拶の後、4月に初当選した新人議員5人を含む議員6人が、2人1組になり各クラスの児童と交流の時間を持ちました。グループセッションでは、まず議員から立候補した動機や思いについて話した後、事前に児童から寄せられた質問に答えていきました。児童からの質問には、議会の進め方や、報酬についての質問のほか、『これまで税金で購入した中で一番高価なものは何か』といった質問も飛び出しました。議員からは、児童に対し『これを機会に、将来議員を志す人が出てきたらうれしい』との声もありました。



議員に聞いてみたかったこと

どんな思いで活動をしていますか

一番税金を使っているところはどこですか

小学生でも要望をだすことはできますか

政策が実現されるまでに、どのくらいの間、話し合いをしますか

議員の給料はどのくらいですか



主権者教育とは？

平成27年に選挙権年齢が満18才以上に引き下げられたことを受け、単に政治の仕組みを学ぶだけでなく、他者と協働しながら、地域や社会の課題解決を自ら考えて行動する力を育てることを目的とした教育です。



＼たくさんの感想ありがとうございました！／

児童から届いた感想の中から



市議会と市役所が一緒に活動しないと進めないということがわかり、市議会について興味をもつことができました。

私は市議会の方々が砺波市に住んでいる人達がもっと幸せに暮らせるように、本気で砺波市をよりよくすることを考えていることが特に伝わってきて、素敵だなと思いました。

地域に貢献したいという思いから、市議会議員になられた方が多いし、実際に会議の様子を見ると、慎重に話を進めたり、提案したりする声が響いていたので、本当に砺波市民のことを考えて行動しているということが分かりました。

私も18歳になったら是非投票に行き、政治に参加して、自分のできることをどんどんしていきたいと思いました。



教育委員会 教育センター所長に伺いました

学校で政治の仕組みについて知識を習得するだけでなく、実際に議会の見学をしたり、議員の皆さんからお話を伺ったりすることで、子どもたちは「政治は遠いものではなく、自分たちの生活と結びついているんだ」という実感を得的のではないのでしょうか。今後も、このような主権者教育を通して、一人一人が自分の意見を持ち、砺波市の政治にさらに関心をもってくれることを願っています。



川合教育センター所長

議員からのメッセージ

皆さんの真剣な表情や活発な質問にこちらが圧倒され、感動しました。私が小学生の頃は…。

未来を担う子どもたちにこれからも、市議会に関心や期待、希望をもってもらえたら嬉しいです。

(特集担当 原野 誠)

予算、決算などの市政の重要な事柄を審議し、決定するという市議会の役割や市民の意見や要望を聴き、市の政策に反映させるという議員の役割を児童は理解してくれたと思います。今回の経験を他の学校活動に活かしてくれることを期待しています。

(特集担当 仁木良市)

市民の声を
市政に反映

はら だ さだのり
原田 定範議員



公共施設の再編について

Q 「砺波市公共施設等総合管理計画」など公共施設再編に向けての計画の進捗状況と今後の取組について伺います。



A 「市公共施設等総合管理計画」では、平成 28 年度から 30 年間で公共施設総床面積のおおむね 20% (約 48,000㎡) を縮減する目標を掲げ、現時点までの 10 年間の目標達成率は 20% あまりとなっています。「公共施設再編計画」では、5 つの地区集会施設を令和 8 年度から 17 年度までの間に地区へ譲渡する方向性としています。耐震化による安心・安全のためにも譲渡に向けたご協力をお願いします。また、「砺波市公共施設等総合管理計画」などは 5 年ごとに見直しを行うこととしており、今年度がその年にあたります。

質問の趣旨

地区集会施設として経年劣化が進み、雨漏りや耐震化等課題を抱える地区があり、当局の公共施設再編計画について伺いました。

未来へ
バトンを
渡すために

さかい さよこ
境 佐余子議員



持続可能で魅力ある砺波市を目指すには

Q 令和 10 年に計画期限を迎える都市計画マスタープランの第 2 期策定にあたって、今後の住宅政策をまちづくり全体の中で、戦略的に位置づけ、都市の将来像や土地利用の基本的な考え方を市民や民間事業者とも共有していく必要があるのではないのでしょうか。

A 現在のマスタープラン策定から 16 年が経過し、人口減少や少子高齢化の進行、多様化する市民ニーズなど、大きく社会情勢が変化しました。新たなマスタープランでは、現行の計画を見直し、第 3 次砺波市総合計画と足並みをそろえ、新たなまちづくりの将来像の実現に向け、住宅政策、土地利用、都市施設など、基本的な方針を定めていきます。また、市民や民間事業者の方々の意見を参考にするため、アンケート調査等を実施し、市民・民間事業者・行政それぞれの役割を明確にするなど、連携・協力しながら策定に取り組みます。

質問の趣旨

都市計画マスタープランは、本市のまちづくりの大切な羅針盤です。多様なセクターが話し合い、持続可能で住みやすいまちになることを心から期待するものです。

未来の砺波を
見据えた中学
校の再編を

こうしま としあき
神島 利明議員



中学校再編計画について

Q 新設中学校の建設場所は、地理的なバランスや今後の児童生徒数の動向など勘案すると、庄西中学校近隣を候補とすることが妥当であると考えますが見解を伺います。



A 市総合教育会議では、一番生徒数が多いところに学校を建設すれば、バスを利用する生徒も少なくなり、合理的であるとともに、統合に対する不安感も少なくなるのではないかと、の意見があり、また、教育委員会定例会でも、現在の庄西中学校周辺が望ましいのではないかと、との意見がありました。これらの意見や児童生徒数の推移など複合的な要因を考慮し、建設場所については、今年度中に策定する「(仮称) 砺波市立中学校再編計画」で示します。

質問の趣旨

再編の対象となる中学校区の住民にとって最も関心の高い事項のひとつが、新設中学校の建設場所でありますので、質問しました。

総合計画は 市民の計画

しまだ みつる
嶋田 充議員



第3次砺波市総合計画(基本構想)の策定について

Q この計画をつくるにあたり、市民の皆さんがどのように関わっていきますか？

A これまでと同様に市民、企業、団体などから幅広く意見を聞くだけでなく、新たに富山大学と連携し、現行の計画に対する意見交換を行い、次の計画に対して、大学生の若い視点やトレンド、教授などから専門的知見を提言いただき、策定の参考としていきます。

Q 平成16年の合併時に策定した「新市まちづくり計画」をどのように継承し、活かしますか？

A 「新市まちづくり計画」から20年以上が経過し、当時から大きく市民意識や社会が変化した現在において、同計画にこだわる必要はないと考えています。

質問の趣旨

合併から20年経過した今こそ、先人の思いと合併時に描かれたまちの将来像を大切に、中山間地域も含めた持続可能な砺波市を市民とともに築くことが大切だと考えます。

次世代を担う こども達のため

にきりょういち
仁木 良市議員



子育て支援施策について

Q イオンモールとなみにできる児童館・子育て支援センターの利用児童の安全面の確保について見解を伺います。

A 当該施設は、映画館の隣の区画内に整備し、ファミリーサポートセンターの事務局なども備えた複合施設とする計画です。商業施設から離れた区画のため、児童の動線がある程度は集約できるものと見込んでいます。また、ハード面の安全対策は、民間施設のため必要な対策等を要望していきます。加えて、駐輪場を指定するなど、安全に来館できるよう配慮していきます。

Q 子育て支援施策の今後の地域展開（例えば小学校区単位から自治振興会単位へ）などについて伺います。

A 地域のニーズの内容やどのくらい需要があるかを見極め、地域住民の意見を丁寧に伺いながら、検討していきます。

質問の趣旨

親子の愛着形成が大事だと思い、それに必要な子育て支援施策（上記のほか「砺波市さんさん広場推進事業」「こども食堂」「病児・病後児保育」「子育て短期支援事業」なども含めて）について質問しました。

安心して暮らせる 地域づくりを 推進しよう

むかい みきお
向井 幹雄議員



ほっとなみ見守りシールの周知を広める施策について

Q ほっとなみ見守りシールは、高齢者が外出先で行方不明になった場合などに気付いた人がQRコードを読み取ると、保護者や家族などへ連絡が届くものです。

現在、シールの交付者は50人弱で令和8年度の目標値80人に近づけるためにも、さらにこのシールの周知を広めるべきではないでしょうか。

A 昨年10月からは県内の全市町村で同様な仕組みが導入されたことで、行方不明者を保護する際に、市内のみならず広範囲での発見が可能となり、今後の登録者数の増加につながると期待されます。

今後の周知活動は、本年8月にイオンモールとなみにて開催される介護イベントで、見守りシールの読み取りブースを設ける予定とし、見守りシールの有効性を実体験していただくことで、読み取る側の意識も高めながら、見守りシールの普及に努めたいと考えています。

質問の趣旨

認知症の早期診断、早期対応に向けた支援の強化や高齢者の生活支援・見守り体制を継続できるように支援を図っていただきたく、質問しました。

中心市街地の
賑わい創出に
むけて

はやし のりこ
林 教子議員



空き店舗再生みんなでチャレンジ事業について

Q 「週6日以上・11時～13時を含む6時間以上営業」という利用条件を、時代に合わせ柔軟に見直しはいかがでしょうか。

A 創業の相談や経営指導を行う商工団体からは、現行要件の改善要望はありません。ただしコロナ後の働き方の変化も踏まえ、創業希望者や関係者の声を聞きながら、制度の趣旨を大切に柔軟に対応したいと考えています。

Q 事業の実績を紹介する方法や周知等について、どのようにお考えですか。

A 創業希望者に向けて、これまでの成功事例や活用実績を紹介し、中心市街地の活性化と空き店舗の解消を目指します。商工団体と連携し、「広報となみ」や市ホームページ、市公式SNSで動画や体験報告会なども検討し、効果的な情報発信に努めます。

質問の趣旨

空き店舗を活用した起業支援は、中心市街地の賑わいを創る大切な取り組みだと考えています。この制度の意義や可能性を多くの方に知っていただき、より活用しやすいものとなるよう、制度の運用について問いました。

時代にあった
教育環境の
推進を

はらの まこと
原野 誠議員



小中学校における英語教育の推進について

Q グローバル化が進む現代、英語教育の必要性が高まっています。一方で、小学校段階からの英語能力の格差が生じるのではという不安の声もある中、現在本市ではどのような英語教育に取り組んでいるのか伺います。

A 英語教育を通して「ふるさと砺波に誇りと愛着をもち、自分が住む地域や砺波市について、世界に発信することができる力」の育成を図っています。取組として、全小中学校にALTを配置し、教員と連携してネイティブな発音など生きた英語を学んでいます。また、毎年、小中連携授業研修会を開催し、教員が学習指導の在り方について情報共有を図り、スムーズな小中接続ができるよう努めています。加えて、国際的な交流活動を通して、異文化や異国語などに苦手意識のある児童生徒の意欲や自信を育み、目的意識をもって主体的に外国語を学ぶことができると考えています。

質問の趣旨

児童生徒、教職員が互いに学ぶ喜びをもたらす教育環境となることが大切だと思っています。

地域資源を
活かしたい!!

よねやま まさき
米山 勝規議員



空き家対策と移住促進について

Q 移住のきっかけとしての「貸家」の数を増やす取組を強化してはどうでしょうか。

A 5年以上賃貸する意思のある空き家所有者に対し、改修費を助成する制度を設けています。現状、利用実績は少ないものの、「貸家」が増えれば砺波暮らしを体験していただければ、定住の際に新築や空き家物件を購入することにつながり、この流れは効果的であると考えています。今後、賃貸物件として空き家情報バンクへの登録が増えるよう仲介業者の方々と連携し、啓発や掘り起こしを図っていきます。



質問の趣旨

「空き家」という地域資源を移住のきっかけに活かしたい、という私の思いです。しかし、「貸家」の数は少なく住宅の「購入」あるいは想定よりも狭いアパート暮らしを選択するしかなく、移住を決断できない方が多くおられると思い提案しました。



こにし とよかず
小西 十四一議員



補助金の採択条件見直しによる農業現場の救済について

Q 現在国や県で実施されている補助金は、経営維持に向けたものは対象外となっています。しかし、現場では経営維持することができず困っており、現場を守るための補助金見直しについて国や県に要望してください。

A 本市では、農地の集積が一定程度進んでおり、これ以上の経営規模拡大が難しい経営体が多く見られます。また、補助要件緩和を求める声も多く寄せられており、北陸農政局管内で開催された、新たな「食料・農業・農村基本計画」の地方説明会において、本市の農業者の声を国の担当者に伝えたところです。農業を取り巻く環境は日々変化し、不安定な状況が続いていますので、引き続き、関係機関・団体や農業者の意見も伺い、補助制度の見直しを含めた持続可能な農業政策の実現に努めていきます。

質問の趣旨

明日の農業に光を当てるために提案をしました。



さかい きんご
境 欣吾議員



不登校について 子どもも保護者も安心できる関わりを

Q 本市でも不登校が増えています。不登校の子どもが、自分を責めて苦しむことなく、安心して過ごせることが大切です。登校を迫られていると感じることのない関わりが重要ですが、どういった対応をしておられますか。

Q 保護者は精神的にも、日々の生活でも困難を抱えます。どこで相談ができるのかという案内、親同士で話し合える環境整備、フリースクールの費用の減免、介護休業の対象であることの周知をお願いします。

A 寄り添った支援が重要で、フリースクールの活用や教室外での学習など、多様な環境を整えています。学校、保護者、地域、行政、フリースクールなどと連携しながら支援に努めています。

A 教育支援センター「ひよどり」では相談に応じ、フリースクールの説明会などの内容が保護者に伝わるようにし、また、フリースクールの親の会を案内します。費用軽減は考えていませんが、補助金制度の活用を勧め、介護休業の活用も周知します。

質問の趣旨

「生きる価値がない」「子どもを育てられない」と本人も保護者もつらい思いをしがちです。安心して日々を過ごせるように社会的な関わりを求めて質問しました。

傍聴してみませんか

令和7年8月定例会カレンダー(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	8/25 10:00 本会議	26	27	28	29	30
31	9/1 10:00 本会議	2 10:00 本会議	3 10:00 文教民生 病院常任委員会	4 10:00 総務産業 建設常任委員会	5	6
7	8 9:00 決算特別委員会	9 10:00 決算特別委員会	10 10:00 決算特別委員会	11	12	13
14	15	16 14:00 本会議				

傍聴手順

- ①当日、砺波市役所本庁3階の議場前にお越しください。
- ②議場出入口付近にある受付票に、住所・氏名等をご記入ください。
- ③傍聴席へご入場ください。(傍聴は出入り自由です。)



原案
可決

議案第36号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第2号)

防犯対策費 地域防犯カメラ設置事業費 1,000千円

提案理由

地域における防犯対策の強化を図るため、自治会や地区の防犯組合などが防犯カメラを設置する際に、市がその費用の一部を助成する制度を新たに設ける。

審議内容は？

県警が実施する「安全安心見守りカメラ事業」で設定した防犯カメラを買い取る場合も補助の対象となる。予算を上回る申請があった場合は、追加補正での対応も必要と考えている。

砺波警察署とも連携して、危険が想定される箇所への設置の検討を自治会に働きかけていきたい。



市内に設置されたカメラ



原案
可決

議案第36号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第2号)

エコ推進事業費 太陽光発電設置設備事業費 15,000千円

提案理由

電気料金の高騰による市民や市内の事業者の負担を軽くし、あわせてカーボンニュートラルの実現に向けた取組を進めるため、新たに太陽光発電設備の設置費用の支援制度を設ける。

審議内容は？

買取制度(FIT・FIP)の認定を受けていないことを補助の要件に盛り込むとともに、新築住宅において太陽光発電設備を設置する場合には、太陽光発電の設置費用を切り分けて申請することが可能であれば、補助対象とすることができる。また、中古住宅を取得した後に新たに太陽光発電を設置する場合には、本補助制度とサステナブル住宅支援事業の両方を申請することも可能である。



個人宅の太陽光発電

文教民生病院常任委員会とは

こども支援、教育、社会福祉、高齢介護、保健衛生、環境、ごみ、リサイクル、病院に関することなどを調査・審査する委員会です。

＼私たちが取り組みます／

原野委員 神島委員 仁木委員 嶋田委員
島崎委員 向井委員長 境佐余子副委員長 山本委員





原案
可決

議案第36号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第2号)

農業経営等構造対策費 7,893千円

提案理由

一般社団法人アグリエイトの取組が国の事業採択を受けたことから、乗用管理機等農業用機材の購入に対し補助するものである。

審議内容は？

一般社団法人アグリエイトの取組は、富山県内では初めての取組となる。「地域まるっと中間管理方式」と言われており、

①農地所有者は、集落内の農地をいったん農地バンク（中間管理機構）へ貸し出す。

②農地バンクは、借り受けた農地を地域が設立した一般社団法人に貸し付ける。

③一般社団法人は、直接経営を行うとともに、自作希望農家には、「特定農作業受委託契約」を締結することにより、これまでと同様に個人名義での農産物の出荷販売ができる仕組みである。

全国では、17府県で34組織が取り組まれている。種もみ生産地や中山間地域において有効な仕組みであり、今後水平展開を図り、砺波市農業の発展に向け、推進していく。



耕作者全員による生育状況調査



原案
可決

議案第36号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第2号)

園芸振興対策費 7,500千円

提案理由

県の事業採択を受けたことから、チューリップ球根の除根を実施する設備購入に対し補助するものである。

審議内容は？

除根作業は細かいうえに手間がかかる。今回の除根機の導入により収益性、労力の省力化が図られることから早急に導入を図る。



(除根機イメージ)

総務産業建設常任委員会とは

総合計画、財政、地域コミュニティ、防災、商工業、観光、農林業、住宅、建築、都市計画、公園、道路、上下水道、河川などに関することなどを調査・審査する委員会です。

＼私たちが取り組みます／

原田委員 有若委員 境欣吾委員 米山委員
今藤委員 小西委員長 林副委員長 川辺委員





○・・・賛成 ●・・・反対 欠・・・欠席 議・・・議長（議長は採決に加わりません。）

番号	議案等の名称	審議結果	米山勝規	嶋田充	原野良誠	仁木定範	原田定範	境佐余子	林教子	向井幹雄	神島利明	小西十四一	境本欣吾	山本篤史	有若隆彦	川辺一彦	島崎清彦	今藤久之
----	--------	------	------	-----	------	------	------	------	-----	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

令和7年第2回臨時会（5月12日）

【市長提出議案等】

議案第30号	令和7年度砺波市一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ85,864千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ24,077,864千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第31号	砺波市税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第32号	砺波市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく促進区域内の固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第33号	財産の取得について（消防救急デジタル無線）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて 専決処分第8号 砺波市税条例の一部改正について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第34号	砺波市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第35号	砺波市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

令和7年6月定例会（6月9日～6月23日）

【市長提出議案等】

議案第36号	令和7年度砺波市一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ255,692千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ24,333,556千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第37号	令和7年度砺波市病院事業会計補正予算（第1号） 病院事業収益 補正予算額を40,000千円とし合計12,915,900千円とする 医業外収益 補正予算額を40,000千円とし合計1,451,530千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第38号	砺波市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	○	○	○
議案第39号	砺波市体育施設条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第40号	砺波市重度心身障害者等医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第41号	砺波市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第42号	砺波市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第43号	砺波市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第44号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

討論

討論は、採決の前に議題になっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。

議案第38号 砺波市国民健康保険税条例の一部改正について

反対 境 欣吾 議員	賛成 境 佐余子 議員
被保険者の負担が大きいの国民健康保険制度の問題をさらに拡大することになるので、賛成できない。	この改正により、ある一定以上の所得のある世帯では負担増となるが、軽減基準額の変更により低所得世帯においては負担軽減となる。応能負担の原則に基づいており、国保制度の持続可能な運営に資するものであるので、賛成する。

5/12 委員会の構成が決定

令和7年の議会構成は、市議会ホームページでも公開しています。

詳しくはこちら▶



(◎委員長、○副委員長、□副部長)

委員会名		委員名							
議会運営委員会		◎島崎 清孝 ○川辺 一彦							
		向井 幹雄 小西 十四一 山本 篤史 今藤 久之							
議会改革特別委員会		◎山本 篤史 ○林 教子							
		米山 勝規 嶋田 充 原野 誠 仁木 良市							
		原田 定範 神島 利明							
新庁舎検討特別委員会		◎川辺 一彦 ○小西 十四一							
		米山 勝規 嶋田 充 原野 誠 仁木 良市 原田 定範							
		境 佐余子 林 教子 向井 幹雄 神島 利明 境 欣吾							
		山本 篤史 有若 隆 島崎 清孝 今藤 久之							
広報広聴 特別委員会	広聴部会	◎島崎 清孝 □神島 利明 嶋田 充 林 教子							
	広聴編集部会	◎山本 篤史 川辺 一彦							
		○境 佐余子 □境 欣吾 米山 勝規 原野 誠							
		仁木 良市 原田 定範 今藤 久之							

～これからのまちづくりに、議会がどう応えるのか～

令和7年度、砺波市議会では3つの「特別委員会」が設置されました。これは、変化する社会や市民のニーズに応えるために、特定のテーマに特化して調査や検討を進めるためのものです。

■ 議会改革特別委員会

「わかりにくい」「遠い存在」と言われがちな議会を、市民にもっと身近に感じてもらえるよう、地方分権の時代に合った、開かれた議会を目指し、住民参加のあり方や情報公開の充実などを検討しています。

■ 新庁舎検討特別委員会

いざというときの防災拠点としての強さ、毎日の手続きや相談のしやすさ、そして環境への配慮の観点から、次世代の砺波を支える新庁舎をどう作るか、基本理念に基づいて調査研究を進めています。

■ 広報広聴特別委員会

【広報編集部会】

QRコードの活用や見開きの特集ページから、よりわかりやすく、読みたくなる誌面づくりに取り組んでいます。

【広聴部会】

市民のみなさんの声をお伺いするため、私たち議員がまちへ出向いています。意見や要望が市政に反映されるきっかけづくりをしています。

今回設置された委員会では、暮らしやすさ、安全性、情報発信の仕組みなど、まさに今後の砺波に必要な視点が話し合われています。市民の皆さんに、さらに市政へ関心を持っていただけるようしっかりと取り組んでいきます。



議員表彰

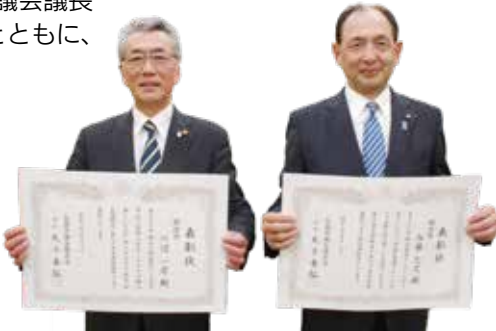
今藤久之議員、大楠匡子前議員、川辺一彦議員、山田順子前議長が全国市議会議長会などから表彰を受けられました。長年のご尽力に対し、深く敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待いたします。

全国市議会議長会

勤続20年表彰 今藤久之議員、大楠匡子前議員
正副議長4年表彰 川辺一彦議員
感謝状 山田順子前議長

北信越市議会議長会

勤続20年表彰 今藤久之議員、大楠匡子前議員



政務活動費を公開

令和6年度分砺波市議会政務活動費収支報告書を市議会ホームページで公開しています。

詳しくはこちら▶



議員紹介

一問一答

「議会人として
取り組みたいことは？」

今期4年間16名で
がんばります！

現場視点で挑む、持続
可能なまちづくり
嶋田 充／青島

より良い市になる
よう全身全霊で頑
張ります
仁木 良市／高波

砺波市農家の発展と安
定に向け頑張ります
小西 十四一／中野

自然災害に強い
故郷づくり
原田 定範／鷹栖

常に相手の立場
に身を置き嘘偽
りのない真心を
尽くす
原野 誠／林

砺波市の良いところ
を最大限活かす
米山 勝規／桺檀野

積極的な情報発信
と市民の声を行政
に伝える
向井 幹雄／油田

市民幸福度向上の
一助になること
境 佐余子／五鹿屋

市民の声を聞き、
かたちにする
林 教子／出町

現場第一主義を
モットーに一人
一人の声を大切
にする
神島 利明／庄下

何にでも無く、どう
取り組むかに重きを
置きたい
監査委員
今藤 久之／柳瀬

議長を補佐するこ
と・議会全体を見
渡すこと
副議長
山本 篤史／東般若

議員だからでき
ることを、市民
のために全力で
境 欣吾／庄下

何事にも一生懸命
島崎 清孝／南般若

市民福祉のさらなる
増進と、本市の発展
議長
有若 隆／庄下

市民に開かれた議会づ
くりの更なる展開！
川辺 一彦／東野尻

写真やご意見・ご感想を
募集しています。

申込はこちらから▶



マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)
が発行日の朝から読めるアプリの
インストールはこちらから▶▶▶

